

報道関係者各位

No.-61109

2013年2月22日
株式会社東陽テクニカ

**東陽テクニカ、40Gビットイーサ対応 SDN/OpenFlow スイッチの公開テストを実施
～スパイレント・コミュニケーションズ社の測定器を用いて、スケーラビリティやパフォーマンスを測定～**

株式会社東陽テクニカ(本社:東京都中央区、代表取締役社長 五味 勝、以下「東陽テクニカ」)はエヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 関根 尚、以下「NCLC」)と共同して40Gビットイーサ対応 SDN/OpenFlow スイッチの公開テストを実施しました。

SDN(Software Defined Network)/OpenFlow はサーバやアプリケーション側でネットワークを集中管理・変更でき、大規模なデータセンタやキャリアネットワークなどでメリットが大きいと期待されています。また、40Gビットイーサは現在のコアネットワークにおいて主流である10Gビットイーサの4倍の転送能力をもち、2013年にはデータセンタなどで本格的な導入が始まると予想されています。一方でSDN/OpenFlow や40Gビットイーサ装置についてのスケーラビリティやパフォーマンスについては十分なデータが開示されておらず、導入効果に対して慎重な意見も挙がっています。

公開テストではNCLCが販売する米国Pica8社の40Gビットイーサ対応SDN/OpenFlowスイッチ「P-3920(旧称:Pronto 3920)」について、OpenFlow動作時のスケーラビリティ確認やL2スイッチ動作時とのパフォーマンス比較を行いました。テストは東陽テクニカが総代理店となっている米国スパイレント・コミュニケーションズ社の次世代IPパフォーマンステスタ「Spirent TestCenter」から40Gビットのトラフィック送受信やOpenFlowプロトコルのエミュレーションを行い、詳細結果の取得と解析を行いました。

今回の公開テストの結果は世界でも類を見ない貴重なデータであり、これらの技術導入時の効果や考慮すべき検討ポイントを明らかにしています。公開テストの結果は東陽テクニカ、NCLC両社のWebサイト上で閲覧いただけます*。

図 1. OpenFlow 設定時のテスト構成

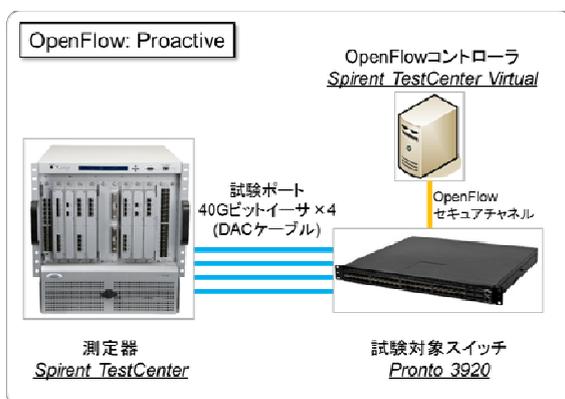
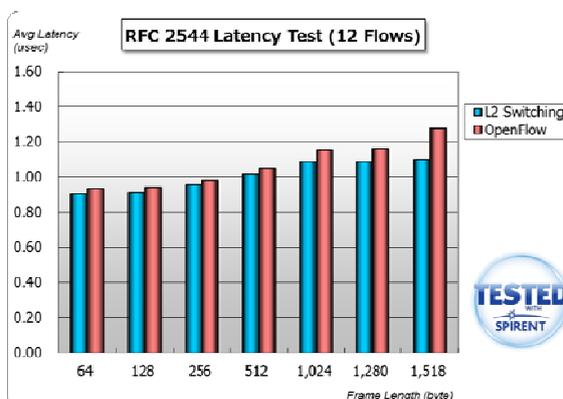


図 2. パフォーマンステスト結果の例



東陽テクニカは今後もこのような先端技術に対する幅広い取り組みを行い、日本の情報通信ネットワークの大容量化、高機能化および高品質化に貢献していきます。

- * <http://www.toyo.co.jp/spirent>
- * <http://www.nclc.co.jp/products/sdn/pica8>

[米国スパイレント・コミュニケーションズ社 (Spirent Communications)について]

スパイレント・コミュニケーションズ社は、研究開発ラボや通信事業者、通信機器製造会社、一般企業の IT 部門などで使用されるテスト機器の製造販売やコンサルティングサービスを行う業界のリーダ企業です。同社のソリューションによって 40/100 ギガビットイーサネットなどの有線から無線、衛星通信に至るまで、あらゆるお客様の QoE(Quality of Experience)を高めることができます。東陽テクニカは同社の日本国内における総代理店です。

[Spirent TestCenter について]

Spirent TestCenter は、スパイレント・コミュニケーションズ社が提供する業界標準の IP パフォーマンステストです。全ストリームのリアルタイム/ハイパフォーマンス QoS(Quality of Service)/QoE 解析やルーティング/アクセスプロトコルエミュレーション、サーバ仮想化、そして SDN まで様々なテストケースに対応します。

[株式会社東陽テクニカについて]

東陽テクニカは昭和 28 年の設立より「技術と情報」をキーワードに、最先端の「測るツール」を主として欧米の電子計測器メーカーより輸入し、日本の技術発展に寄与することを使命として、日本の研究者・開発者に提供してきました。「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー・トレーニングなどの取組みは、400 人を超える全従業員の 8 割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。東陽テクニカに関する詳細は、[<http://www.toyo.co.jp>] をご覧ください。

[エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社について]

エヌ・シー・エル・コミュニケーション(略称 NCLC)は、海外 IT 製品の輸入・販売・保守ならびにプロダクトインテグレーションを行う IT の専門家集団です。1986 年に設立し、ネットワーク、セキュリティ、ストレージ、CRM を中心として、先進的かつユニークな製品・ソリューションを拡充しており、時代の潮流を見据えて、積極的に事業領域を拡大しています。NCLC に関する詳細は、[<http://www.nclc.co.jp>] をご覧ください。



スパイレント・コミュニケーションズ社製品に関するお問合せは下記までお願いします。

株式会社 東陽テクニカ 情報通信システム営業部

Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 e-mail: spirent-web@toyo.co.jp

また、当社に関するご質問は下記までお願いします。

株式会社 東陽テクニカ経営企画室

Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 e-mail: kikaku@toyo.co.jp

* 記載されている会社名、製品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。

* 記載の商品名、価格及び担当部署、担当者、Web サイトの URL などは、本リリース発表時点のものです。